

# 売上高・純利益 3割超上げ 25年度 めど

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)傘下のSMFLレンタル(東京都千代田区)は、事業の選択と集中を加速する。主力事業であるIT機器、計測器のレンタル事業や成長領域に資源を集めて収益を拡大する。SMFLが掲げる「キーコア・エグゼクティブ」循環経済の実現などを目標とし、他社との提携も進める。一方、収益性が低い事業は譲渡や縮小する。2025年度までの3年で売上高の年度は27.9億円、純利益(同15億円)をともに3.4割増やす。

パソコンをはじめとマイクロソフトの基本ソフト(OS)「ウィンドウズ10」のサポートが25年に終了する。各種設定作業(キッテイング)、IT資産の把握、グループ適正処理(ITAD)全体でパソコンの入れ替えとメンテナンスの急務。

計測器のレンタル事業では展開する領域を拡大する。今後、市場拡大が期待される宇宙関連領域などを強化する方針。計測環境や測り方まで提案できる強みを生かす。30年度に同領域の売り上げを10

倍以上に拡大したい。後、こうした種類に対応するために、テクニカルセンターなどのキャリアセンターを上げていく。サテライト機能の拡張も進めたい。



SMFLレンタルは最適な試験環境も提供する

# 選択と集中加速

## SMFLレンタル

### 航空宇宙など開拓力ギ

大村尚之社長に足元の事業環境や今後の方針などを聞いた。

◇(石川雅憲)



社長 大村 尚之氏

「売上高、純利益と需要も拡大した。今にも堅調に拡大している。こうした種類に対応するために、テクニカルセンターなどのキャリアセンターを上げていく。サテライト機能の拡張も進めたい。」

「計測器の需要は、日本は海外に比べ、L1Bから資源を取り出す取り組みが遅れている。まずは24年度の事業主体となる共同会社を設立し、国内に工場を建設することを検討している。」